

上小山田地区資源ごみ処理施設連絡会（第7回）

議事要録

- 日時 2023年3月27日（月） 14時57分～15時49分
- 場所 バイオエネルギーセンター 3階会議室
- 出席 委員：田中会長、中丸委員、小川委員、佐藤委員（安達副会長は欠席）

- 事務局 : 徳重循環型施設建設担当部長
循環型施設整備課 : 田中課長、篠塚担当課長、原田担当係長、木村担当係長、
内山主任、深井主任、芝野主任、高橋主事
環境政策課 : 池澤担当課長
コンサルタント : 株式会社日建設計

- 傍聴者 1名
- 配布資料
次第
 1. 確認事項
資料1 第6回上小山田地区資源ごみ処理施設連絡会について
 2. 協議・報告事項
資料2 町田市資源循環型施設整備基本計画の改定について
資料3 地区連絡会等における今後の協議事項

1. 開会の挨拶

徳重環境資源部循環型施設建設担当部長より、開会の挨拶を行った。

2. 事務局紹介

町田市の担当について、紹介を行った。

3. 委員紹介

田中会長より挨拶を行った。また、事務局より委員の紹介を行った。

4. 確認事項

○ 第6回連絡会の内容確認

資料1を用い、事務局より、第6回の地区連絡会の内容について説明を行った。

(以下、質疑応答)

- ・田中会長 このときも、特に問題は出なかったように思う。

5. 協議・報告事項

○ 協議・報告事項1 町田市循環型施設整備基本計画の改定について

資料2と投影資料を用い、事務局より、町田市循環型施設整備基本計画の改定について説明を行った。

(以下、質疑応答)

- ・田中会長 配布資料はないのか。
- ・事務局 まだ検討中であるため、出来上がりましたら配布資料としてお渡しします。
- ・小川委員 計画処理量を再設定とは何か。設定し直したのがその値ということか。
- ・事務局 ご覧いただいたものは現行の計画に記載されている値で、策定当時の状況に即した形で計画したものになります。新たに法が整備されましたので、これも加味した形

で、町田市から出ているごみの量全体から処理量を算定し、施設の能力を決めていこうと、いま検討を行っています。

・**田中会長** バイエネ君も、ごみを減量してこのくらいの容量だろうということで造ったが、（処理量が）全然間に合わなく、多摩のほうへお願いして処理をしてもらっている。これからも廃プラなどは減ることはなかなかないと思う。ごみ量が多くなったときのことを考え、処理のトン数は余裕をもった値で改定をしないと、処理施設を造っても、またお金を出してほかで処理してもらうことになり、よくないと思う。あと、道路については、相手との交渉が進んでいないので、長期といっても、ある程度余裕をもった長期の計画にしたほうがいいのではないかと思う。

・**小川委員** 基本計画だから、2028 年度には民間委託から上小山田に戻すということが前提なので、そこまで書いていただきたい。

・**事務局** あくまで暫定という言い方をさせていただいています。

・**小川委員** 暫定だから途中で止めていいということはない。前回のバイオエネルギーセンター（運営協議会）のときに、2028 年度には必ず民間委託から上小山田に戻し、民間委託がずっとそのままいくことはない、と聞いているのでそこまで書かなければだめ。

・**徳重部長** これは暫定であって、施設の完成後には上小山田に戻すので、そのところを記載します。

・**中丸委員** 2028 年度に上小山田に戻すのは、ある程度大まかな目途がついているから、そのように言っているのか。

・**小川委員** 前回の運営協議会のときに民間に委託する、市政懇談会のときも市長が2028 年度には戻す、と言っていた。そうすると、2026 年度に民間委託をし、2027 年度までに（施設を）完成して、2028 年度から上小山田に戻すことになり、あと丸 5 年である。町田市は相当細かい時系列ができていはずなので次回示していただきたい。

・**徳重部長** ご意見を重く受け止めており、きちんと努力していなければいけないことも認識しています。ただ、現状で、2028 年に上小山田の施設を完成させるのは目標であり、その目標に向かって一生懸命頑張っていますが、実際の進捗は、道路の測量については 40%完了と聞いています。残り 60%の測量が終わらないと、道路付けについても事業を進めることができないところがあり、現実問題として、必ずここまでに終わるというものを示すのは、かなり厳しいものがあると考えています。

・**小川委員** 難しいのはよく分かる。それで忠生連合の市政懇談会の議題として 3・4・

40号線の代替案を作って、それでやったらどうかというものを提案した。この時点になったら代替案を考えるという時系列でもいいから示さないと民間委託が続く。だから、ここまでは限度なので、ここからは代替案を考えますぐらいの腹を決めたらどうか。

・中丸委員 もう1点言えることは、今の場所をほかに考えるとすると、そこに持っていったとしても、またそこでも嫌だよと、どこもできなくなってしまう気がする。だからその辺も少し考えた中でやったほうがいいのではないかと思う。

・小川委員 今回、私が代替案を出したのは、3・4・40号線をそのまま、東京都の路線についてやる案で、下小山田になるか上小山田になるか、できれば上小山田の同じ地区の中でやってもらえれば非常にいいが、案を出したところだめですと言われた。代替案を考えないで町田市が折れるとなったら誰も土地を売らなくなる。

・田中会長 小山田のバス停のほうから入れるという考えだけではなくて、北側の、反対のほうから入れて、施設も造って、その後、何とかしてバス停のほうまでずっと道路を引っ張る。市長は、施設を通るのは別々の考えでやっていきますと言っていたが、これは別々ではないと思う。一緒に進行しないと、建物を造っても道路がないと入れないし、道路がないと建設できない。

・小川委員 あの道路（計画道路）だって、579号線をあそこまで引っ張って、将来は延長して大泉寺のあそこまでくっつけるというのでしょうか。その取りかかりもない。こちらの下の方に来て、小山田のバス停から大泉寺のほうの579号線の延長だったら、またああじゃない、こうじゃないというのはあると思うが、あれだけのところでこれだけ手間取ってれば、あんな計画はもうゼロである。であれば、ピンカン施設を民間委託にしなくてもいい。代替案をもっと考えれば、そんな手間暇はかからない。2025年度で終わって民間に委託するということできえ、約束違反である。2022年度には終わっていないければいけないのだから。それをどんどん延ばして、今度は2027年度、2027年度も怪しくなっている。民間委託にすれば、上小山田に移すことはみんな忘れてしまって、ずっとこれから民間委託という感じになってしまう。

・徳重部長 出来上がりから逆算して道路と施設を整備していく。相原地区、バイエネ君でも同じことを言っているが、単に清掃工場あるいは資源化施設を造るという考え方はなく、地域の方に防災時の拠点として思ってもらえたり、会合があれば会議室を使っただけのような施設を造っていきたい。

・田中会長 防災や集会の機能を持たせてくれとか、6～7年前にずっと話が出ている。

・中丸委員 誘致時に、市長と上小山田の町内会で話をし、バス停ですか、危ないところに対しては早く対応をしてもらっている。また、施設は道路ができなければ絶対にあそこでやってはいけないという取り決めになっている。とにかく道路を早く造ってもらわないと。道路がなければ幾ら小田急の駅ができて、利用価値がないし、逆に、駅ができないうじゃないかと。道路部は大変だと思うが頑張ってもらいたい。

・田中会長 絶対にこの場所に造るという信念をもって、何とかやってもらいたい。

・中丸委員 相原で進んでいるということは、上小山田でも絶対にできないとは言えないと思う。もう少し頑張ってもらいたい。

○ 協議・報告事項 2 地区連絡会等における今後の協議事項について

資料 3 を用い、事務局より、地区連絡会等における今後の協議事項について説明を行った。

(以下、質疑応答)

・田中会長 次回は、交渉の日時、訪問者、結果を報告してもらいたい。また、道路整備課にも来てもらって、感じはどうだったとか、話してもらいたい。

・小川委員 2027 年度に終わるかどうかわかれば安心するが、民間委託してしまったらそのままになる可能性がゼロではない。上小山田でできませんと言っていて、そのうち民間委託でずっと先延ばしになる可能性が十分ある。

・徳重部長 それは考えていません。

・小川委員 考えていなくても、ならざるを得なくなってしまう可能性が十分にあるから地域の人は心配している。

・中丸委員 改定をするならば「上小山田地区資源ごみ処理施設」の「ごみ」は消したほうがいいのか。「ごみ」が入っていると気になる。

・田中会長 「町田市資源循環型施設整備連絡会」とかでいいと思う。最低でも「ごみ」は外してください。

○ その他

・事務局 事務連絡だが、次回の開催については、事業の進捗に合わせて開催させていただく。日程はまた改めて調整させていただきます。

6. 閉会

○ 閉会の挨拶

田中環境資源部循環型施設整備課長より、閉会の挨拶を行った。

(15時49分 閉会)